

# 令和8年度事業計画書

公益財団法人 奈良先端科学技術大学院大学支援財団は、「奈良先端科学技術大学院大学の持つ斬新かつ優れた特性及び機能を最大限に発揮していただくために、その教育研究活動を支援するとともに、大学院大学と産業界、地方公共団体等との交流を促進することにより、先端科学技術分野の研究開発を担う研究者、技術者等の育成及び研究開発基盤の充実に寄与し、もって我が国の科学技術の発展に資する」という目的を達成するため、令和8年度において下記の事業を実施する。

## 【公益目的事業】

### 1. 大学院大学支援事業

大学院大学に対する支援事業については、大学院大学からの申請内容を支援事業選考委員会において審査の上、決定する。

支援総額 8,800千円

#### (1) 教育研究活動に対する助成

支援額 2,100千円

##### ①研究テーマ助成

先進的・独創的な優れた教育研究活動の支援により、活動成果の創出拡大と研究の将来を担う人材育成を図る。(3件 支援額: 1,500千円)

氏名	所属等	研究テーマ
Khan Muhammad Imran	計算システムズ生物学研究室 博士後期課程2年	Antimicrobial Resistance (AMR) prediction from Electronic Health Records (EHR) with Graph-based Hybrid Framework
林 真衣香	植物代謝制御研究室 博士後期課程3年	葉柄運動をモデルとした自重が制御する成長メカニズムの解明
平川 美穂	機能有機化学研究室 博士後期課程1年	ナノカーボン材料による長波長吸収の限界への挑戦

##### ②新任教授スタートアップ助成

新任教授が研究体制を整備して研究活動をスムーズに始められるよう支援する。

(大学院大学からの申請なし)

##### ③社会人ドクター修学支援

企業に所属している社会人の修学の促進を図るため、入学料と授業料を自己負担して博士後期課程に入学する社会人学生を支援する。(3名 支援額: 600千円)

#### (2) 国際交流活動に対する助成

支援額 5,360千円

##### ①海外派遣支援

海外の国際会議において、研究成果の発表と情報収集をおこなう博士後期課程学生を支援する。(申請なし)

##### ②外国人留学生支援

教育研究の国際化を推進するため、外国人の留学を支援する。対象者は大学院大学の留学生特別推薦選抜の合格者の中から選考した留学生(博士後期課程)とし、渡日旅費と入学料を支援する。(12名 支援額: 5,360千円)

### ③大学間交流活動支援

大学間における共同研究等の交流活動を行うための渡航費用を支援する。(申請なし)

### (3) 学術研究成果の普及に対する助成

意見交換会や講演会、研究業績報告会、シンポジウムなど、大学院大学の研究成果を広く社会に還元するための取り組みを支援する。(申請なし)

### (4) アワード制度に対する支援

支援額 1,340千円

#### ①NAIST 最優秀学生賞

学習や研究に対する意欲を高めるため、学位記授与式において、優秀な成績を修めた学生を理事長名で表彰し、賞金を授与する。(賞金：840千円)

#### ②教員表彰

教育研究活動で優れた業績を挙げた教員に対する表彰に際し、賞金を贈呈する。〔「ベストティーチング賞」、「バイオ領域賞」、「NAIST 学術賞」〕 (賞金：500千円)

## 2. 先端科学技術の普及啓発事業

大学院大学が理念の1つとして「社会の発展や文化の創造に向けた学外との密接な連携・協力の推進」を掲げ、積極的に取り組んでいる、いわゆる産学官の連携推進の活動のうち、当財団は2つの取り組みに関わり、大学院大学支援事業とは別枠で支援を行う。

### (1) NAIST 産学連携フォーラムの開催

先端的、独創的な研究を行っている大学院大学の研究者と産業界の研究者・技術者との交流の場を提供することを目的として、大学院大学、(公社)関西経済連合会および当財団の共催でフォーラムを開催する。最新の研究成果の紹介講演、意見交換会等を実施する。

大学院大学において新たなシンポジウム等が計画され、研究者等の交流の場が提供されることから、令和8年度のフォーラム開催を見送る。

### (2) NAIST 発 新産業創出への支援

関西地区の中小企業・ベンチャー企業等が、大学院大学と連携して、大学院大学が持つ優れた研究開発成果や技術シーズの実用化・事業化に向けた研究開発に取り組む際に、その費用の一部を支援する。(支援額：1,200千円)

## 3. 地域交流事業

### (1) 高山サイエンスプラザの公開

高山サイエンスプラザは、当財団が行う地域交流事業などの活動拠点であり、科学技術に会える楽しい空間としてのサイエンスランドや水と緑と光があふれる空間としてのオープンギャラリーなどを備え、交流拠点施設として一般公開する。

#### ①サイエンスランドの運営

大学院大学との連携により、科学技術に会える空間「サイエンスランド」を整備し、科学を通じ初等教育の場の拡大、校外学習等としての利用促進を図る。

#### ②高山サイエンスタウンフェスティバル

高山地区に立地する8施設(大学院大学、参天製薬(株) 奈良研究開発センター、上六印刷(株)、(株)Burley plus、(株)芦田製作所、(株)日阪製作所、(株)ソフトバンク 生駒センター、当財団)で組織する「高山地区立地施設等連絡協議会」(事務局は当財団)の主催により、高山地区の振

興と地域住民の交流を深めるためのフェスティバルを開催する。

### ③音楽会

地域における文化交流の拠点としての活性化を図るため、高山地区立地施設等連絡協議会協賛によるプチコンサートを開催する。(年間4回)

## (2) 科学教室の開催

小学生を対象とした科学教室を開催する。各教室とも1日数回実施。申込多数の場合は抽選。

### ・NAISTサイエンス塾

大学院大学の教官・学生が講師となるNAISTサイエンス塾を開催する。(年8回程度)

### ・親子科学教室

科学の基礎知識を学ぶ教室を開催する。(年1回)

### ・夏休み科学実験教室

夏休み期間中に科学のおもしろさ、楽しさを伝え、科学をより身近に感じてもらえるよう、科学実験教室を開催する。(年1回)

## 4. 情報発信

当財団のホームページにおいて、当財団や高山サイエンスプラザの紹介、イベント情報などのお知らせのほか、財団の業務・財務に関する情報を適時公開する。

## 【収益事業】

### (1) 貸室、貸駐車場等に関する事業

#### ①高山サイエンスプラザ3Fレンタルオフィス並びに4F住戸の賃貸事業

高山サイエンスプラザ内には、レンタルオフィス、海外等からの研究員が利用する貸住戸があり、屋外には「科学する子供たちの広場」や駐車場がある。財団では、これら施設の管理・運営を行う。

施設、設備の経年劣化、老朽化に伴い、レンタルオフィス、住戸の賃貸は一時休止する。

#### ②高山サイエンスタウン駐車場運営事業

高山サイエンスタウン駐車場は、県有地を借り受け、主に大学院大学の教職員・学生のための駐車場として運営している。一部には駐輪場も設置している。

利用料金は、1日300円、1か月定期3,000円(学生は半額)としている。

#### ③その他施設賃貸事業

高山サイエンスプラザ屋上の一部を携帯電話無線基地局として賃貸、使用させている。(令和8年度移設撤去予定)

以上